

ASK レポート

No.0028

2015年5月11日(月)
担当：MS事業部 玉井

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン名古屋ビル1F
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

中日懇話会 丹羽宇一郎氏

はじめに

先日、中日懇話会にて前中国大使の丹羽宇一郎氏の講演を聞いてきました。

丹羽宇一郎氏は、伊藤忠商事の前会長でもあります。中国の話がメインでしたが、今後の日本の職業教育について共感する部分がありましたので報告いたします。

中小企業の従業員教育が必要

丹羽氏は、特に中小企業の従業員に対して教育が必要だと言っていました。なぜなら日本の中小企業は会社数の99.7パーセントを占めており従業員数で言うと日本の全体の従業員数の70パーセントを中小企業の従業員が占めているからです。教育により中小企業の従業員のスキルを上げ給料を上げなければ、日本は活気付かないと主張していました。

科学的な研修を取り入れるべき！

特にサービス業の科学的な研修が必要だという話が印象的でした。いまだに一流ホテルでも、料理長の背中を見て技術を学ぶと言う非科学的なことをやっている。このようなことでは、世界品質のレベルアップがなかなか実現しない。丁稚奉公の世界ではなく、科学的に研修をやらなければ世界に通用しないと断言していました。

これは観光業だけではなく、会計業界も同じ事が言えると々ASKは考えます。

